

令和元年度 始良市校区まちづくり事業

協議会名：西浦校区コミュニティ協議会

事業名：西浦校区「西浦を歩いてみよう」

参加人数	約 130 名
------	---------

【事業の内容】

西浦の秋の景色を楽しみ、西浦の歴史を感じながら、西浦小学校から掛橋坂まで歩く。

西浦小学校が特認校になったのを機会に、校区外からも多くの人に来てもらい、西浦の良さを知ってもらおう。

スケジュール
事業実施

月 日	実施内容
8月11日	役員会① 内容の検討①
8月24日	運営委員会 内容の検討②
9月13日	役員会② 内容の検討③
10月4日	役員会③ 内容の検討④
10月26日	臨時運営委員会 内容の確認
11月8日	事前準備
11月9日	西浦を歩いてみよう開催

【運営委員会や役員会での内容の検討】

「西浦を歩いてみよう」は、西浦校区まちづくりプランにも載せていたスポーツ振興部の行事である。年度当初は実施日も決まっていなかったが、季節のいい景色のきれいなときが良いのではと、11月9日小学校の学習発表会の日の午後実施と決まり、本格的な内容の検討に入った。

3回の役員会、2回の運営委員会で詳細な計画を話し合った。

小学生の作文ラジオ放送でのPR、MBCテレビでのPTA会員のPRと続き、そのことでの問い合わせが数件あったため、参加人数の把握が困難になり、無料昼食の個数を約100食から165食に増やすことになった。

当日は、昼食後、西浦校区の歴史に詳しい蒲生在住の江口秀丸さんに、講和をしてもらうことになった。その後、古道を高齢者や幼少の子どもが約6kmを歩くことになるので、伴走車や救護車を準備し、安全面に十分配慮することなどが話し合いで出され、充実した話し合いとなった。

西浦を歩いてみようの
ちらし

【当日の流れ】

- 午前中・・・西浦小学校学習発表会
- 12時～・・・昼食（新米・豚汁のふるまい）
- 12時50分～・・・江口さんの尺八演奏
- 13時～・・・西浦校区の歴史についての講和
- 14時～16時・・・西浦を歩いてみよう
- 16時半・・・解散（お土産・年末年始行事案内）
- 17時～・・・後始末・反省（役員）



【広報】

校区外には、フェイスブックで「西浦を歩いてみよう」の案内をした。

行事実施前にMBCテレビで西浦校区の宣伝をする番組があったので、「西浦を歩いてみよう」と「小学校特認校開設」のことを、宣伝した。

またMBCラジオで西浦小学校の子どもの作文が読まれる番組があったが、読まれた子どもの親がインタビューされた。その時「西浦を歩いてみよう」のことを宣伝した。

テレビ放映後に、小学校とコミュニティ協議会に数件の電話での問い合わせがあった。内容は歩く距離のこと、高齢者だが最後まで歩けるか心配というようなことだった。伴走車や救護車を準備することを話し、安心して参加してほしい旨を伝えた。

【前日の準備】

小学校体育館横に調理用と食事スペースのテント3張りの準備・小学校の校庭に駐車のための白線を引いた。また165人分の豚汁の材料を切り、当日に備えた。昼過ぎから始めた準備であったが、役員以外の手伝いもあり、16時半頃終わった。



準備も終わり、ティータイム



【西浦を歩いてみよう 開催】

学習発表会が終わった12時前からお客さんが集まり始めたので、昼食は30分前倒しして始めた。食事スペースには、机と椅子用のコンテナを準備した。お客さんに豚汁・新米・ペットボトルのお茶をふるまった。用意した食事スペースは、ほぼ全部が埋まるくらいであった。「美味しい。」という声が聞かれ、お客さんが美味しそうにほおぼる姿に、やってよかったと安堵した。

12時50分から小学校体育館で、講師の江口さんの尺八演奏が行われ、皆で聴いた。

13時から約1時間、江口さんの西浦の歴史についての講和が行われた。江戸時代の頃、藺牟田から西浦の山の裾野の古道を経て、石畳の掛橋坂を通り、馬で年貢米が運ばれた。西浦下の川からは、船で帖佐・加治木へと年貢米が運ばれた歴史などを話された。

講和の後、14時から年貢米が通った山手の古道を掛橋坂まで歩いた。普段は県道を車で通っているが、ゆっくり昔を偲びながら、往復約6kmを歩いた。掛橋坂は、石畳が少々危険と判断し、入り口の滝のところまでの案内となった。谷山からという86歳の高齢者も、自分の脚でしっかり歩いた。途中脱落者もなく、歩きとおした。

掛橋坂駐車場では、休憩に麦茶とお菓子をふるまった。

復路も往路と同じ道を通った。

校区外からの参加者には、お土産に西浦の美味しい水で育てられた新米をプレゼントして、喜ばれた。その後16時半に小学校で解散した。



昼食のふるまい



江口さんの講和



<参加者感想より> 44名

- 秋のすがすがしい日に、楽しく歴史を感じながら歩こう会に参加させていただきました。おもてなし、歴史の話とても有意義な時間でした。
- 長年、田舎に来たことがなかったので、皆さんの心遣いが有り難くうれしかった。
- 西浦の新たな発見がたくさんの日だった。
- 今までに行ったことのない道を歩いて、とてもいい経験が出来て良かった。
- 子どもさんたちが孫と手をつないでくれて、とても楽しかった。
- 西浦の皆様、スタッフの皆様、最高でした。ありがとう、感謝。また来年も母と来られますように。
- 久しぶりに地域の絆を感じた。
- 意外と長かったので、疲れた。



参加者の感想

【事業を振り返って】

今回はあまり宣伝もしなかったのですが、どのくらいのお客さんが来るのか、予想が難しかった。しかし準備した昼食数で十分だった。昼食のおもてなしに、お客さんには満足してもらえたようである。校区をゆっくり歩くことで、地元民も新たな発見があり、西浦の良さを再認識できた。

最後に来年に向けて、役員で感想も交えた反省を行った。

- お客さんに満足してもらえて良かった。
- 決められたコースを歩かずに、短縮のコースを歩く人がいた。安全面から、決められた道を歩くように、分岐点での役員を配置すべきであった。
- 地元の役員以外の参加が少なかったのが、残念だった。
- 大山祇神社の銀杏の紅葉が、最盛期の時期に設定してはどうか。
- 前日準備に手伝いが出席しやすいことを考えると、実施は日曜日が良いのではないかな。

感想を読んでもみると、西浦の子どもたちも校区外からの子どもに対して、おもてなしをしてくれたようである。この行事を何年か継続することで、西浦の良さをもっと発信できるものと思う。来年も今年の反省を生かして、より充実した行事にしたいと思う。

役員反省会

